

1つ目の柱 地域学校協働活動の推進

宇部市では、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進をめざして、3つの柱と8つの重点項目を設定し、コミュニティ・スクールの一層の充実を図っていきます。

今回は、その1つ目の柱「地域学校協働活動の推進」に向けて、取り組まれている二校の好事例を紹介します。

1. 上宇部小学校 「学校地域連携カリキュラムボード」

○児童生徒の地域貢献意識の高揚をめざす学習を総合的な学習の時間を核として明確に位置づけた学校・地域連携カリキュラムの実施

本年度の市コミスクリーフレットには、上宇部小学校の「カリキュラムボード」が紹介されています。昨年度、カリキュラムの見直しを図るために協議を2回実施し、各教科・領域と地域人材・資源等のつながりを分かりやすく整理するとともに、成果と課題を踏まえた内容へとブラッシュアップされました。その際、こんなことをしたらどうだろうと多くのアイデアが出されたため、令和6年度の取組に向けて確かな展望がもてています。

R5
はじめ



R5
おわり



2. 厚南小学校 「こうなんちゃんの学校応援し隊」だより（学校地域連携カリキュラム）

○「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進への教職員、保護者の理解浸透

厚南小学校運営協議会が発行した地域配付の便り『楽しくナ～シ』（令和6年3月号）には、コミュニティ・スクールの強み、我が家の簡単朝食☆コンテストとともに、地域連携カリキュラムが2ページに渡って掲載されています。学校の取組を広く理解していただくために作成されています。

